

審査員からのコメント

サステナW(ブル)-2031年、人も地域も取り残さないー

あらゆるモノの価格が上昇する今日において、農業生産における農薬や肥料などの投入費用をいかに抑制するかは、喫緊の課題である。こうしたタイムリーな課題に対して、本作品では、秋田県固有の地域資源である「湯ノ花」を用いた種子消毒剤の開発や、湯ノ花の廃液を活用した土壌改良資材の開発に取り組んでいる。廃棄される予定だった資源を有効活用すると同時に、農業の生産コスト低減にも寄与するこうした取り組みは、社会的貢献度が高い活動であると評価できる。さらに、これらの開発にとどまらず、実際のブルーベリー農家に対して普及活動を行い、現場からポジティブな評価を得ている点も高く評価できる。今後、このような高校生らしい斬新な発想に基づく取り組みが、地域農業の持続性の向上につながることを期待する。

